



安積二小だより

創立 150 周年 「花と緑と思いやり ひとみ輝く 二小の子」

郡山市立安積第二小学校
学 校 便 り No. 17
令和 7 年 9 月 29 日
文責：校長 齋藤 和彦

「評価の二期制」(前期/後期)

～明日 前期通知票を配付します～

今年度より「評価の二期制」(前期/後期)に移行することを 4 月 PTA 全体会において説明させていただきました。(同日配付文書に、その経緯と導入メリットを記しました)

再度「評価の二期制」について、ポイントのみ、お伝えします。(※学期は三学期制)

＜これまでの評価を再検討して＞

- ▽ 学期に追われる評価多忙の見直し
- 前期/後期の長いスパンで適切に評価
- 学期末の授業や指導、体験学習の充実
- 学期末時期にも見学/宿泊学習を実施
- 子どもとかかわる時間の確保(心的ゆとり)

今年度の「評価二期制」実績から、すでに次年度の“子どもにとってよりよい教育計画づくり”の検討が動き出しています。

例として、

- ☐ 教育相談を 1 学期の早い時期に実施
- ☐ 宿泊学習等の実施時期/場所(暑さ対策)
- ☐ “秋のフリー参観”の位置づけ 等々

【通知票】って..昔も今も、ちょっとドキドキだったり、子どもの成長の節目に..意味あるツール(学校と家庭をつなぐ)のひとつであると思っています。



＜校地内車両ロータリー補修＞

校舎前ロータリーの砂利道補修をしました。また来年には補修が必要なくらいの車両往来状況です。

☆【例外なく最徐行の絶対厳守】

☆【できる限りの徒歩登下校】をお願いします



◆◆ 校長室から ◆◆

『その一言は、必ず子どものためにある』

がんばった姿や笑顔が見えるような..ときどきしながら発表した声が聞こえるような..

「先生はちゃんと見ていてくれた。がんばってよかった。」「後期もがんばってみよう！」子どもから、こんな声が聞こえるような..【通知票所見】を作成したいと思ってきました。

「あのとき先生にうんと褒められたんだ！」

「みんなからすごいねって、拍手されたよ！」

持ち帰った夕食時の話題に、親に子どもが自慢できる通知票～このために「日々の授業」があります。(ここまでできた・努力した・仲間に認められた..を見取った評価伝達です)

「絶対にできるようになる！」両手にマメができて練習し続けた逆上がりも 6/21 とうとう成功させました。あの時の友だちからの大きな拍手と歓声は、〇君にとって大きな自信と励みになったことでしょう。褒められるごとにやる気を増し、「今日も宿題やってきました！」漢字 100 点をめざす努力やできたところに赤ペン◎をもらって笑顔で授業を終える姿が多くなりました。

理解力に優れ、学習内容が確実に身につけていることが、ほぼ満点のテスト結果に見て取れます。「ぼくの考えはみんなとちょっと違って..」と前置きして課題解決の方法や気付きを自分の言葉で丁寧に伝えることもよくできています。転校してきて間もない中で戸惑うこともありましたが、仲間と大切に飼育し続けたカナブンを孵化(うか)させた〇君は、笑顔で学級の輪の真ん中にいました。

ほんのわずかな一言(一文)が、不思議に大きな力をもち、子どもに力を与え、保護者の信頼を得ることもある。もちろん、『その一言は、必ず子どものためにある』 そう思いたい。

家庭で、さらに、お父さんお母さんから「よくがんばったね」「2 冊目のノートにも、がんばった跡がいっぱいだね」

「お母さんにもわかるよ」なんて褒められちゃったら..子どももまたがんばるしかありません。

『その一言は、必ず子どものためにあります』



＜ちょっと..うれしかったお話＞

4 年生の子から、「うちのお母さんがね、校長先生の学校だより読むの楽しみって言っていました。こんどのおたよりは、いつ？」

保護者の方から、「髪染めのおたよりは、今までのモヤモヤがすっきりしました。とてもわかりやすく良かったです。」

～校長って..(この歳になると)、人から褒められるなんてことは、めったにありません。

このような声や感想は、ありがたく..とてもうれしいものです。ありがとうございます。

保護者の方々が、学校やお子さんのことで、立ち止まって考えたり..お子さんと話題にしたり..もっと、学校や先生を近くに感じられるようになればと『また、書きます』



◇子どもの学校生活の様子は、ホームページにて掲載しています。(※写真印刷不鮮明のため)